



2019年11月8日

各位

会社名 リズム時計工業株式会社

代表者名 代表取締役社長 平田 博美
(コード番号 7769 東証一部)問い合わせ先 取締役執行役員 荒井 雄司
(Tel 048-641-7241)2020年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績値との差異及び
2020年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2019年5月15日に公表いたしました2020年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と本日発表いたしました実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。また、最近の業績の動向を踏まえ、2019年5月15日に公表いたしました2020年3月期通期連結業績予想を修正いたしましたのであわせてお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績値との差異
(2019年4月1日～2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (2019年5月15日発表)	14,800	150	200	—	—
実績値 (B)	14,305	10	80	△110	△13.36
増減額 (B-A)	△494	△139	△119	△110	
増減率 (%)	△3.3	△93.2	△59.7	—	
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期第2四半期)	15,304	320	395	102	12.41

2. 2020年3月期通期連結業績予想の修正 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (2019年5月15日発表)	31,500	800	900	500	60.52
今回修正予想 (B)	29,000	△100	0	△400	△48.42
増減額 (B-A)	△2,500	△900	△900	△900	
増減率 (%)	△7.9	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	31,016	761	913	△264	△31.99

※業績予想の前提 (通期) 為替レート (今回) 110円/米ドル (前回) 120円/米ドル

3. 第2四半期連結累計期間の業績予想と実績値との差異、及び通期連結業績予想の修正の理由

当第2四半期連結累計期間につきましては、国内外におけるクロック市場の縮小及び百貨店やギフト店での想定以上の売上減少、接続端子事業ならびにプレジジョン事業においては、米中貿易摩擦の影響により受注が減少したこと等により、売上高は予想を下回る結果となりました。営業利益につきましては、時計事業の売上減少と中国およびベトナム工場の原価率悪化、接続端子事業ならびにプレジジョン事業の受注減少、電子事業の中国およびベトナム工場の原価率悪化等に、ベトナム工場からの時計事業撤退に伴い発生した費用が加わり、売上の減少以上に予想を大きく下回りました。また、営業利益が予想を下回ったことにより、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても予想を下回る結果となりました。

通期連結業績予想につきましては、時計事業におきましては、引き続きクロック市場の縮小による売上減少が予想されることと原価率改善に時間を要すること等により、売上、利益ともに前回予想を下回る見込みであります。接続端子事業ならびにプレジジョン事業においては、受注の回復は来年度以降と見ており、売上、利益ともに前回予想を下回る見込みであります。電子事業におきましては、ベトナムのEMS事業が好調に推移しており、売上高は前回予想を上回る見込みであります。原価率の悪化、工場再編費用等により、利益面は前回予想を下回る見込みであります。

当社では、2020年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想を下回ったこと、および通期連結業績予想を大きく下方修正することになった現状を踏まえ、抜本的な改革が必要であると認識しております。本日付「事業改革・事業統合に関するお知らせ」でご案内の通り、時計事業改革、電子事業のプレジジョン事業への統合、技術スタッフを集約するとともに、国内基幹3社の合併に向けての委員会を設立することといたしました。これらの施策により、2021年3月期以降の業績を回復させ、中期経営計画を推進させるとともに、持続的な発展を目指してまいります。

(注) 上記の業績予想につきましては、発表日時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上